

以下に紹介するのは、7月31日にボリビアのマイタ外相が行った記者会見での発言です。8月24日に南アフリカで BRICS の会議が予定されており、議長国南アフリカのシリル・ラマポーザ大統領から参加を要請され、ボリビア政府はこれを歓迎し受諾するという内容です。さらに、ボリビア政府として、BRICS の趣旨、歴史的意義を評価し、関係を強化する意向を示しています。ボリビアのナタリア・サラサール駐日臨時大使からの要望で掲載します。

第 15 回 BRICS 首脳会議からの招請と参加について

ロヘリオ・マイタ外相の記者会見での発言

2023 年 7 月 31 日

共有したい良いニュースがあります。ルイス・アルセ・カタコラ大統領が、ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカから構成される BRICS グループの議長国である南アフリカ大統領から招待状を受け取りました。

第 15 回 BRICS 首脳会議の一環として、8月24日に南アフリカのヨハネスブルグで開催される対話に参加してほしいとの招待です。首脳会議の中心テーマは「加速する相互成長、持続可能な開発、包摂的な多国間主義」です。

私は、シリル・ラマポーザ南アフリカ大統領に招待への感謝の意をお伝えしますとともに、ルイス・アルセ大統領が、この重要な会議に参加することを確認します。

アルセ大統領は、現在の世界 GDP の 30%以上、世界人口の 40%を占める新興諸国の大統領とこの場を共有することで、グローバル・サウスの統合と発展に関する対話に貢献できることを光栄に思っています。

首脳会議の機会に、アルセ大統領は、ボリビアの経済・社会・共同体・生産モデルの成果と経験を発表する予定です。このモデルとは、ボリビアが輸入代替を通じて工業化を加速化することができ、多国間で開放的、透明的、包摂的で非差別的な貿易に向かって前進することができたものです。

その一方で、今回の BRICS サミットへの公式招待は、2020-20 年に向けて大統領が定義した活動、ガイドライン、外交政策の優先事項の産物であることを強調しなければなりません。また、この重要な関係を達成するために、恒久的かつ献身的な同盟国である BRICS 加盟国の外相および大使の皆様へ感謝しなければなりません。私たちは、世界の舞台に立つことに成功したので

す。政府の活動の期間、外務省は、二国間および多国間の舞台で、直接に「慎重に、体系的に、粘り強く、最終的な BRICS 加盟申請への受け入れ態勢を探る

ために、二国間および多国間の場を駆け巡りました。また、それは、BRICSの加盟申請に対する受け入れ態勢を探るだけでなく、この種の長期的な目標がもたらす相互の信頼と信用を前進させるためでもありました。

次回の BRICS 首脳会議は、BRICS 諸国の大統領が初めて顔を合わせるということで、世界的で大きな関心を集めています。というのは、世界で最も重要な新興経済国の首脳がパンデミックの後、顔を合わせるのは今回が初めてだからです。

私たちは、気候危機、ポスト・パンデミック（世界的大流行）、巨大な覇権争いのリスク、食料・エネルギー危機など、困難で複雑かつ不確実な時代を生きています。したがって、世界は、8月22日から24日にかけて南アフリカで何が起こるかに注目するでしょうし、ボリビアは、大統領が代表として出席します。

BRICSは現在、最も重要なブロックであり、最も成長しているブロックです。そして、世界経済における比重という点では、BRICSは現在最も重要なブロックであり、また最も成長しているブロックですが、今回の会議は、BRICSの経済成長を前進させるための優先事項でもあります。

この会議は、政治的対話を進展させ、新たな協力と交流の形、世界経済における国際金融組織の再構築、途上国の債務の再考、重要インフラの面で飛躍的な前進が必要な途上国のためのその他の財政資金調達メカニズムが、優先的に検討されるでしょう。それらのインフラは、ボリビア経済を世界に組み込むためのもので、道路、貨物列車、ドライポート、河川や海港へのアクセス、自由貿易区、電化製品などです。

この一連の外交努力の集大成として、去る6月12日、アルセ大統領は、ボリビアが共有する共通のビジョンを持つ BRICS の 5 人の大統領に宛てた書簡を通じて、ボリビアの BRICS に加盟する意思と関心を正式に表明しました。その共通のビジョンとは、平等、連帯、包摂性、コンセンサス、互恵的協力、多国間主義を基礎とし、覇権主義を排した多極的世界秩序に向かって前進する必要があるということです。

今度の BRICS 首脳会議への招待は、ボリビアにとって非常に重要な一歩で、数週間前にブリュッセルで開催された欧州連合（EU）とラテンアメリカ・カリブ海諸国共同体（CELAC）の首脳会議がそうであったように、ボリビアを再び世界の舞台に立たせる重要な一歩です。しかし、これは、ボリビアがすでに拡大 BRICS に加盟しているとか、すぐに BRICS に加盟するということの意味するものではありません。

このグループの漸進的拡大は、現在進行中の複雑な問題であり、どのような手続きを踏み、どのような道筋をたどるべきかを、現在加盟 5 力国が議論し

ていることを指摘しておかなければならなりません。しかし、私たちは、すべてのボリビア人のために、正しい道を歩んでいると信じています。

公的な発表により知られているように、ここ数年、さまざまな大陸のさまざまな国々が BRICS への加盟に関心を示しています。サウジアラビア、アラブ首長国連邦、アルジェリア、インドネシアなど約 30 カ国です。

私たちは、国として、経済的・政治的パートナーシップの新たな空間の拡大に積極的に貢献したいと考えています。ボリビアは、世界最大のリチウム埋蔵量を誇る国であり、以下のような戦略的提携を実現できると確信しています。それは、リチウムの主権的産業化に必要な技術と資金を提供することを目的とした戦略的提携を実現できることです。また、ボリビアは、リチウムの主権的産業化だけでなく、BRICS や、私たちと同様に BRICS への加盟を目指す友好国によって構成される新興市場におけるボリビアの付加価値製品の市場も保証しています。

ボリビア経済の多角化、輸入品の代替、ボリビア製品の生産と食料の輸出、広範な経済基盤の強化、経済的余剰の社会的再分配は、ボリビア・モデルの目標です。そのためには、主権を伴う統合への新たなアプローチが緊急に必要です。

BRICS との関係が緊密になることは、ボリビアにとって朗報であることは間違いありません。なぜなら、BRICS との緊密な関係は、ボリビアにとって、全世界に向かってのより大きなグローバルな統合の機会を意味するからです。しかし、このような接近は、ボリビアがすでに加盟している多国間および地域統合機関の重要性を低下させるものではありません。ボリビア多民族国家と BRICS との、こうした関係は、相互尊重、自決、不干渉の枠組みの中で、世界各国との国際関係を多様化するというボリビアの決断の一環です。国民の外交と排除なき国際関係政策のおかげで、ボリビアは、統合をすべての人々の進歩と福祉の要因としなければならない世界、相互の結びつきがますます強まる世界のさまざまな場において、仲介者なしに、ボリビアの声を届けることができるよう、地歩を固めつつあります。この前進はそうした表れなのです。

2023 年 7 月 31 日、ラパス

(新藤通弘訳)